
助けた騎士の恩返しは
子作りで?!


人助けを
しただけなのに
膣奥に俺の子種を
たっぷり注いで
差し上げますからね…！
あなたが
俺の子を孕むまで
何度でも…！
どうして
こんなことに
なっちゃったん
だっけ…



私は
マリー・エバンズ
この森で暮らす
薬師です

薬草で作った薬を
街で売って
生活しています

森の奥深くにある
この家にお客さんが
来ることは無い

仕上げに
この薬草を…

コンコン

たまに
森で迷った人が
助けを求めて来ることは
あるけれど…

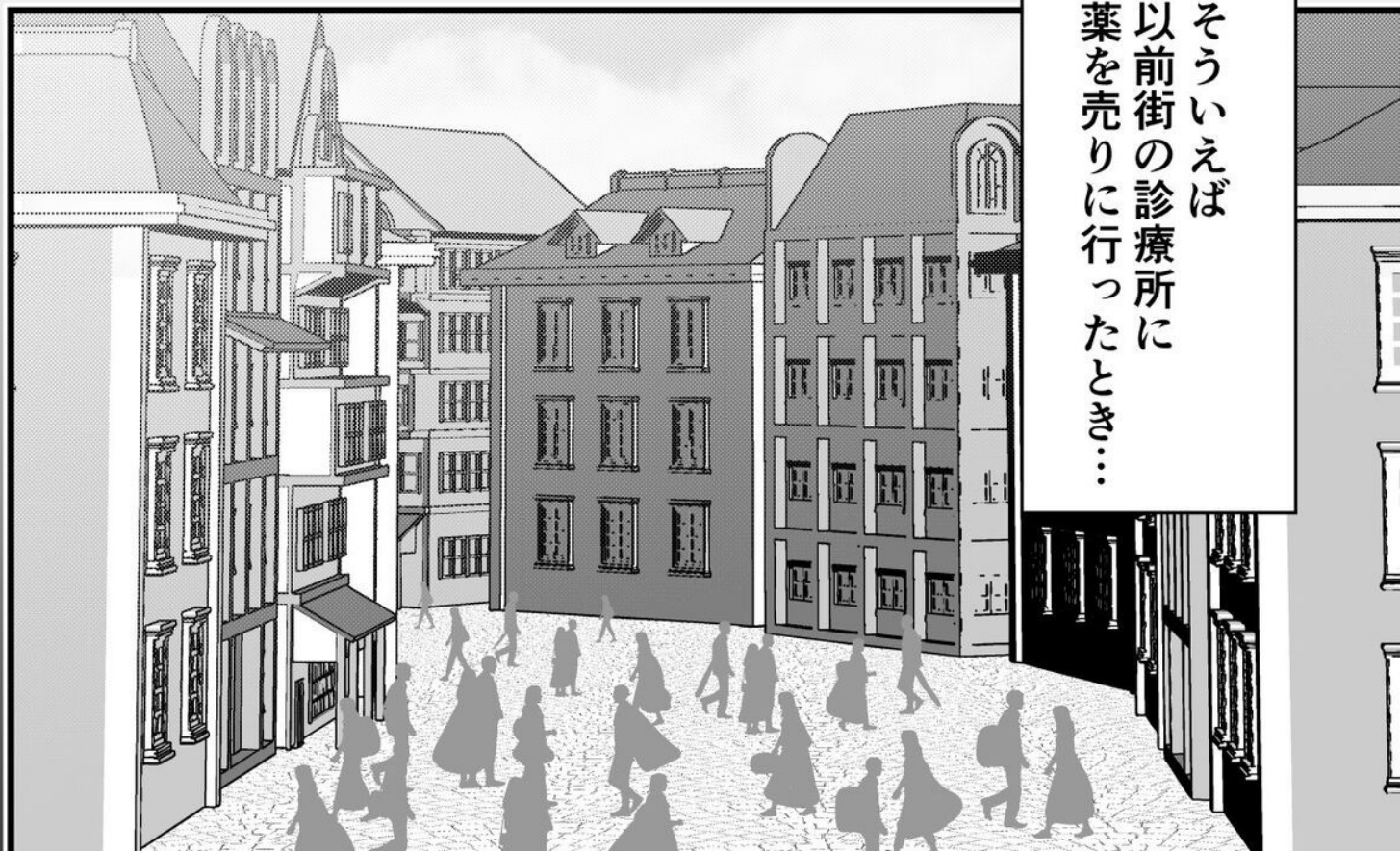
ガチャ

また誰か
迷子になったの
かな？

どちらさま…


やっと
見つけた…
わっ
綺麗なひと…
ずっと貴女を
探していたのです
えーーーっ?!
ぎゅっ


どうぞ
コト
ありがとうございます
それであなたは…？
俺はノア・バートンというものです
以前診療所で魔物の毒に侵された騎士を助けて下さったのを覚えてはいませんか？
診療所？


そういえば以前街の診療所に薬を売りに行ったとき…


これが
前回ご依頼
頂いた薬です
ありがとう
あと
火傷用の軟膏と
解熱ポーションは
あるかい？
はい
持ってきて
います
助けてくれ!!!
あれは
帝国騎士?!
どうした！
何があった！


街の北部の森で
魔物退治の任に
当たっていたんだが
隊長が俺を
庇って腕を…！
黒い斑点…！
駄目！
このままじゃ
死んでしまう！
今すぐこの
解毒薬を…！
これ以上
魔物の毒が
まわると
命が危ない！
なん
だって?!
ゴクッ


パチッ…
目が覚めましたか？
……
斑点も消えたしもう大丈夫そうですね…
貴女は…
では私はこれで…
念のためしばらくは安静に
あぁありがとね助かったよ


あなたは
あの時の…！
マリーさんは
俺の
命の恩人です
是非とも
お礼がしたいと
あの時の医師に
貴女のことを
聞いたのですが…
名前とこの森に
住んでいるという
事しか分からず
休暇の度に
森の中を
探して
いたのです
どうかこちらを
受け取って
いただけないで
しょうか
ジャリッ
ひ、
必要ありません
お礼なんて…！
ですが…
それに…


ノアさんは騎士として
この国を守って
下さっているのですから
お互い様ですよ
マリーさん…
貴女は俺の
思った通りの
ひとだ…
ですが
このままでは
俺の気が収まらない
ですから
カラン
カラン


子作りを
しましょう
――え？

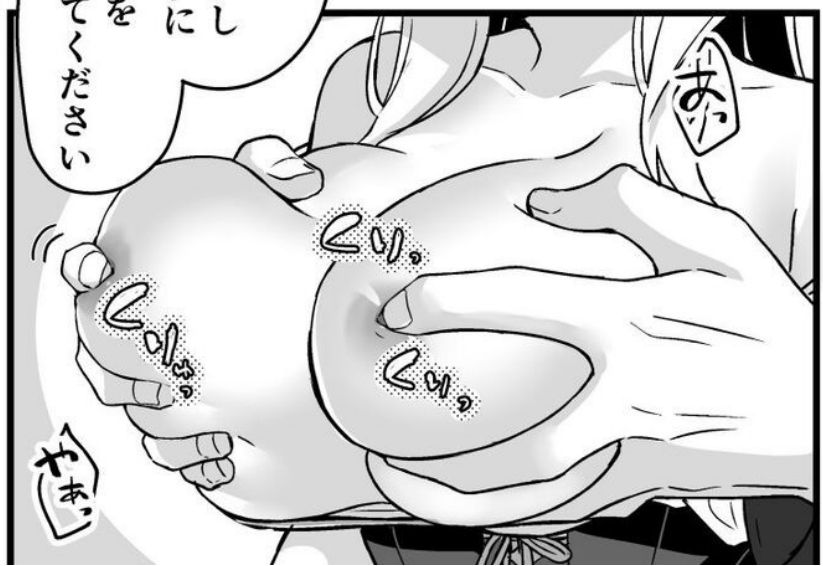

医師にマリーさんの事を色々教えて頂きました
彼女の家は代々薬師を営んでいるんだけど
マリーちゃん以外家族は皆亡くなってしまってねぇ
跡取りもいないからきっと自分の代で終わりだろうって
跡取りをご所望なのでしょう？
そっそういう意味じゃ…！
救われた命は新たな命で返したい
スリ♡
スリ♡
まっ
待ってくださいこういうのは好きな方と…
貴女を愛しています
なっ…?!
貴女は外見や肩書目当てで近づいてくるような他の女性とは違う

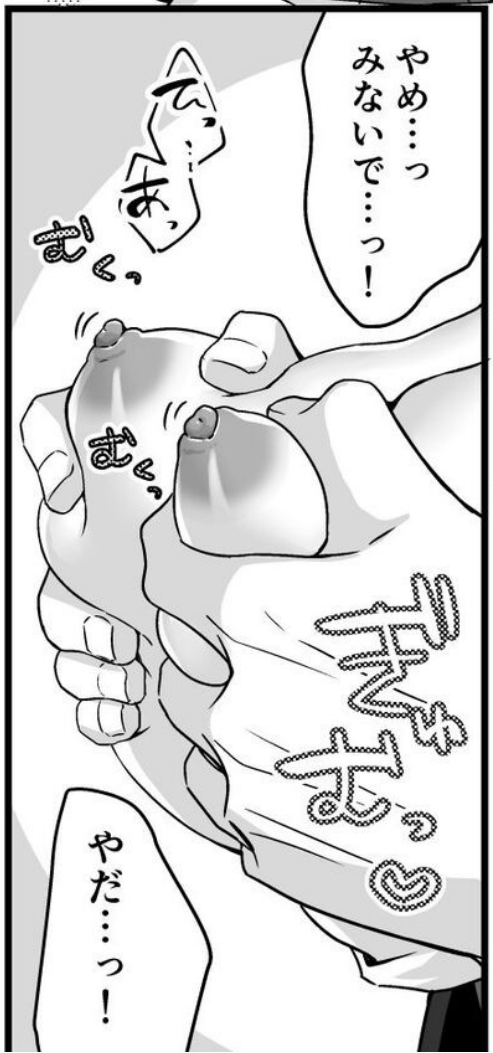

俺はあの日
貴女の聖女の様な
笑顔の虜に
なったのです
ですから
遠慮しないで
下さい
それとも
誰か他の男と
子作りする予定でも
あるのですか？
そんな予定は
ありませんが…
でも
そういう
ことじゃ…！
もにゅっ
ひゃっ
あのっ
ま、待って
ください…！
にゅっ
あぁ
良かった
ちゅっ♡
んむっ！


嬉しいです
マリーさんの助けに
なれるなんて…
んむぅっ
ちゅく
力が強くて
動けない…！
ちゅぅ
グッ…
んんっ
ご安心下さい
女性を悦ばせる
心得はあるつもり
ですから
ノアさん…
まって…
やっ…
もにゅ
もにゅっ
あっ
はぁっ
服の上からでも
感じるなんて
敏感なんですね
…っ
んっ…
にゅっ
嫌(いや)っ
恥ずかしがらないで
愛らしい声を
聞かせて下さい
くにゅ
くにゅっ
嫌(いや)っ
くりゅっ
何?!
私
何されて
るの…っ?!


やっやだ…
やめて…
くださっ…
わかっています
直接が
いいんですよね
やっ…!!
おや、貴女と同じで
恥ずかしがり屋さん
みたいですね
ぷるんっ


やっ
も
コス
コス
にっ

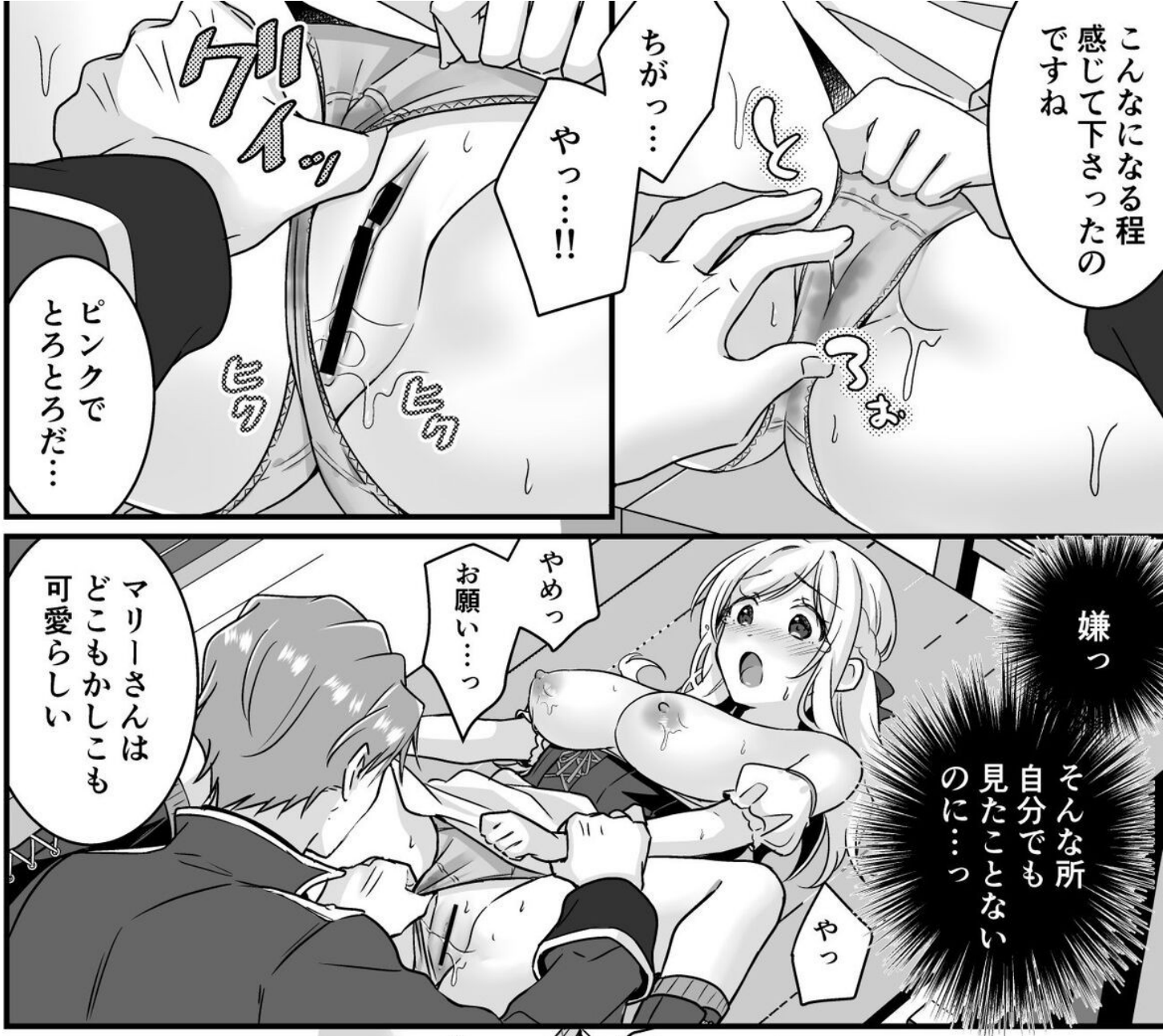

ほら
恥ずかし
がらずに
お顔を
見せてください
あ
くりっ
くりゅっ
くりっ
やぁっ


やめ…っ
みないで…っ!
てっ
あっ
むっ
むっ
ちゅぱっ
やだ…っ!


ぷっくりとしていて可愛らしいですね
食べてしまいたい
うぅ…
あぁやっと出てきてくれましたね
いやぁっ…！
どうして私…おっぱいみられて…
ひゃっ…！
ちゅっ
クリ
ちゅクリ
ううっ♡
あっ…！
触られて…っ
ぴちゃ


やっ
食べちゃ…っ
ちゅっ
ちゅる
ちゅっ
いやぁっ…！
マリーさんの
おっぱい
とても美味しいです
てゃんっ
ちゅっ
ちゅる
ほら
こっちも…
おっぱい
じんじん
する…っ
あっ…
やっ
ちゅっ
ちゅる
あっ♡
お願いっ
だからぁっ
やめっ……
ちゅ
ぽっ
くりゅっ
くりゅっ
あっ♡


ノアさんっ
もう
こんなこと…っ
あぁ
気が付かなくて
申し訳ありません
きゃっ
おへその下
むずむずする…っ
もうこんなにして
いらっしゃったの
ですね
やだっ
見ないで…
えっちな
匂いだ…
駄目ですよ
隠しちゃ
くちっ
くちっ
あっ


こんなになる程感じて下さったのですね
ちがっ…
やっ…!!
ピンクでとろとろだ…

嫌っ
そんな所自分でも見たことないのに…っ
やっ
やめっお願い…っ
マリーさんはどこもかしこも可愛らしい

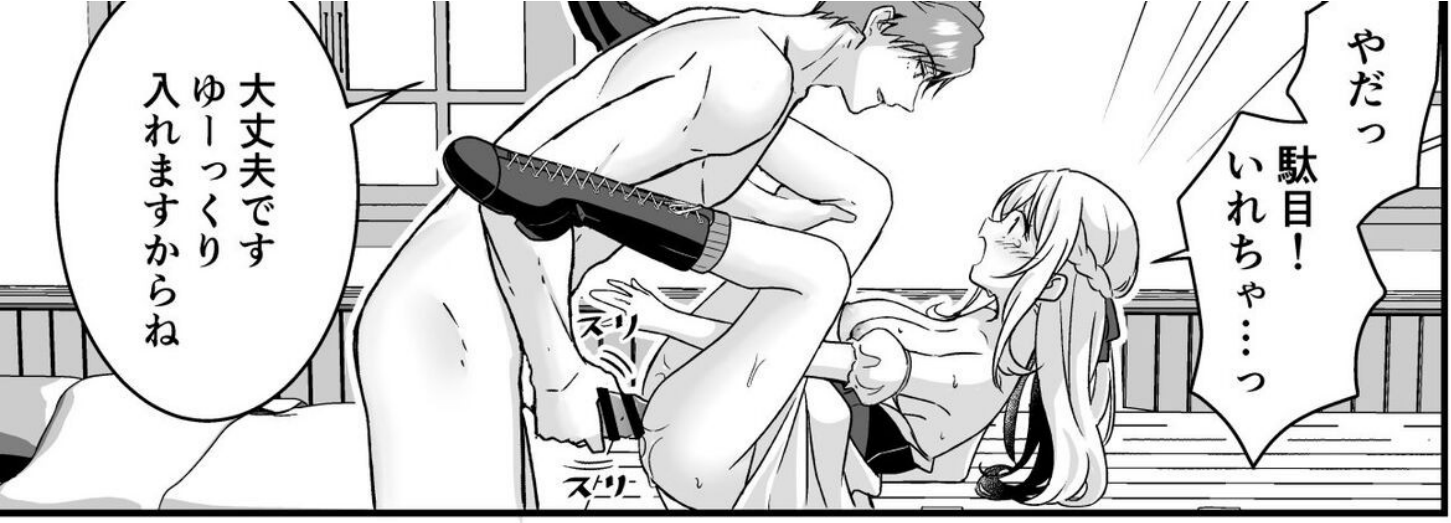

ハ
ん…っ
ん…っ
ぐちゅっ
ぷぷぷ…
ぐちっ
ぷぷっ
スリ♡
くちゅっ
スリ♡
やっ…あっ

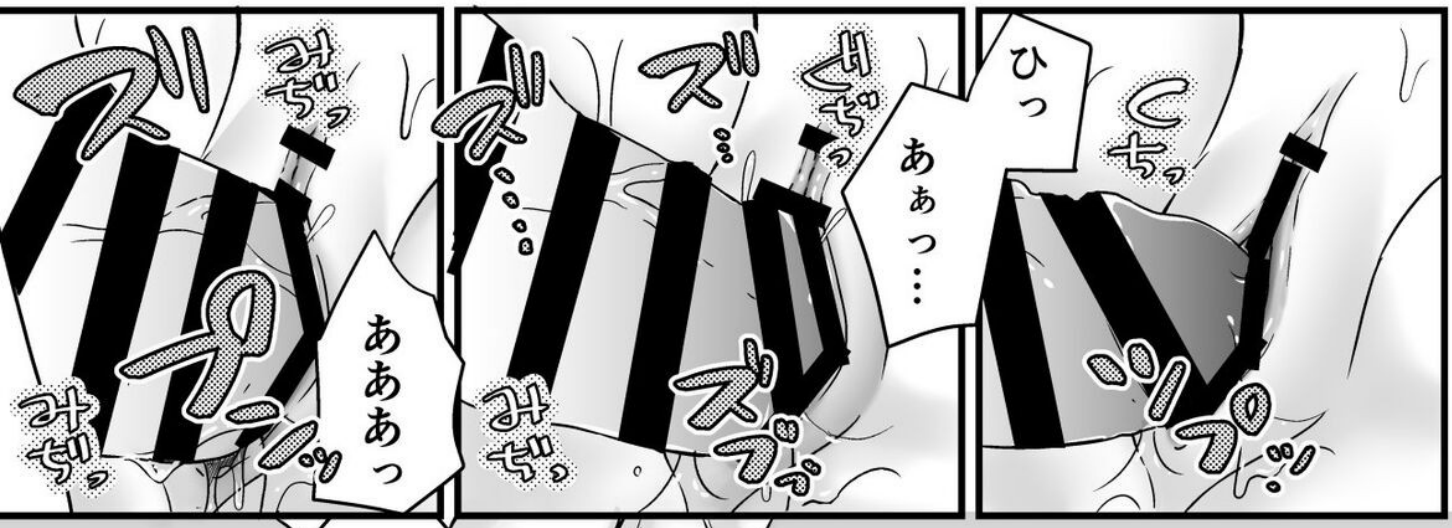

あなたのココは
ずいぶんと指を
受け入れ慣れている
ようですが…
誰かに
こうされた
ことが？
この家に男を
連れ込んで
いるのですか？
この淫らな穴で
昂った男根を
癒していたのですか？
貴女を聖女ように
感じたのは
俺の勘違いだった
でしょうか
ちがっ…
じ、自分で…

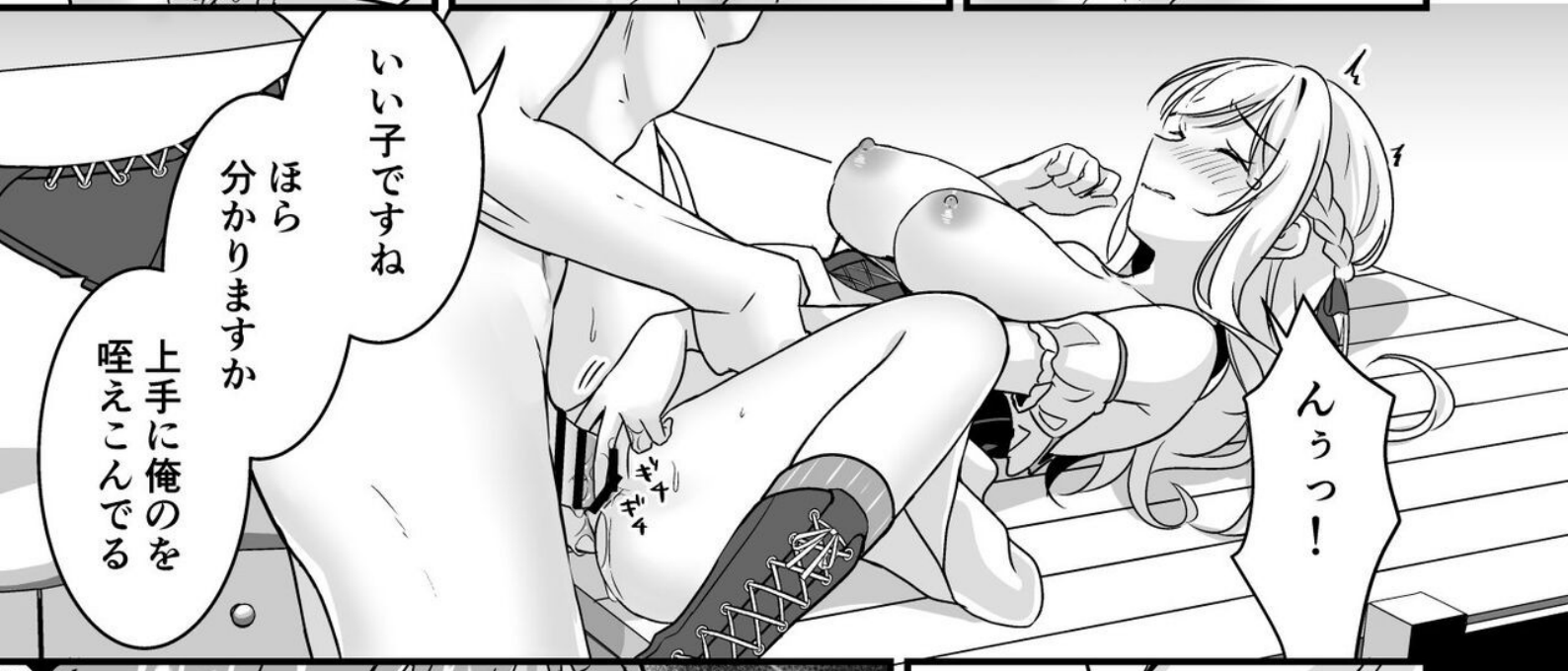

自分で…？
あぁなるほど
普段はご自身で
ここを慰めて
いらっしゃるのですね
見てみたいなぁ
マリーさんの
オナニー…
やってみせて
下さい！
マリーさんの
気持ちいい所を
俺に教えて？
い、いや…
嫌？
何故です？
いつものように
していただくだけで
良いのです
それとも
ご自身でというのは
嘘なのですか？
ひっ…
あ…


やだ…
やだ…
恥ずかしい
どうして私…
ノアさんに
見られながら
こんなこと…
うっ…
ふっ…
んっ…
へぇ…
クリとナカ
一緒にするのが
気持ちいいんですね
でもマリーさんの
愛らしい指では
少しもどかしいのでは
ありませんか？
くちゅ
ぐちゅ
くちゅ
んっ…
ふっ…
俺が手伝って
差し上げますね
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
あっ
やっ
一緒に
入れちゃ……
あっ❤
ここを
ぐりゅぐりゅ
されるのがお好き
なんですよね
ぐりゅっ
ぐりゅっ
ぐりゅっ
んっ…❤
あっ❤
ひぅっ❤


あっ…
とろぉ♡
あぁ
もったいない
ちゅっ
ちゅるるっ
どんどん
溢れてきますね
甘くて
美味しい
おっ
そろそろ
大丈夫そう
ですね
だめっ
そんなとこ
舐めちゃ…っ
ちゅうううっ♡
ひぅっ
やっ…
吸っちゃ…
力を
抜いて
ひっ
い、いや…
まって…


やだっ
駄目！
いれちゃ…っ
大丈夫です
ゆーっくり
入れますからね
ズリー
ズリー


ひっ
あぁっ…
ぐちっ
ズブ…
ズブッ
ぐちっ
ああああっ
みぢっ
ズブッ
みぢっ


んぅっ！
いい子ですね
ほら
分かりますか
上手に俺のを
咥えこんでる
ギィ
ギィ


いや…
抜いてくださ…っ
おねがい…っ
はーっ
はーっ
はい
慣れるまで
ゆっくり
抜き差し
しましょうね


幸せですっ
マリーさんと
ひとつになれて…！
ぱんっ
おなかっ
くるし…っ
ぱんっ
やっ
だめっ
あ
ぐちゃ
ぐちょ
あっ
はぁっ
ぱんっ
ぱちゅっ
はっ
一緒にいっぱい
気持ちよく
なりましょうね…！
マリーさんのナカ
俺のモノを
きゅうきゅう
締め付けて
すぐに
イってしまいそう
です…！
ぱんっ
ぱちゅっ
だめっ
ぱんっ
ぱちゅっ
くちっ
くちっ
だめっ
あっ
まって
ぱんっ
ぱちゅっ
ゴリュッ
ビクビクッ
～～～あっ♡
あぁ
ここが
イイんですね
ぱちゅっ
あっ♡
ぱんっ


あっ
あっ❤そこっ
こすっちゃ
だめっ
ぱちっ
ぱちゅんっ
ぐりゅっ
あぁっ♡
ぱんっ
ぐちゅっ
ぱちゅっ
やんっ♡
駄目じゃ
ないでしょう？
こんなぐちゅぐちゅ
気持ちよさそうな
音出して…っ
ほら
子宮が降りて
きてますよ
俺の子種が
欲しくて堪らない
みたいだ…
ぐちょっ
ぐちっ
あんっ♡
ぱちゅんっ
あっ♡
ぱんっ
はぁっ♡
ぐちゅっ
ぱちんっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぱちゅっ
ぱんっ
やっ
びくびくっ
おなか
押しちゃ…！
ぐちっ
だめっ♡
ぱちゅっ
ぱんっ
ぐちゅっ♡
あっ♡
ぐちゅっ♡
ぱんっ
やっ♡
はじめてが
子作りえっちなんて
いやらしいですね

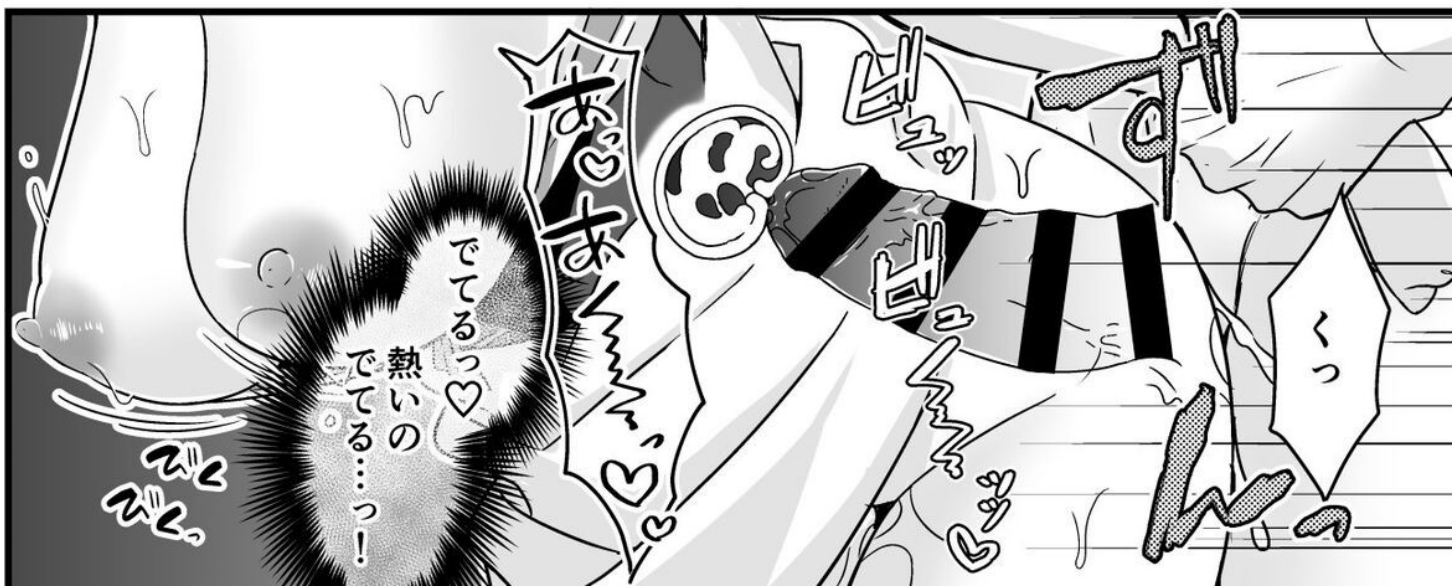

膣奥に俺の子種をたっぷり注いで差し上げますからね…！
やっ
あっ♡
ぱぢゅっ
ぱちゅっ
ぱんっ
んぁっ♡
ぐちっ
ぢゅっ
ぱんっ
あっ♡
だめっ♡
ぱんっ
んぁっ♡
ぱぢゅっ
貴女が俺の子を孕むまで何度でも…！
だめッ
ナカっ
中に出しちゃ…！
あっ♡
あっ♡
ぱんっ
ぴゅっ
ぱぢゅっ
ぱちゅっ
ぱぢゅっ
あぐっ♡
どちゅっ
どちっ
ぱんっ
ぐちっ
ぱぢゅっ
しっかり受け止めて下さいね…!!


駄目ぇ～～～～っ!!!
なかっ
出されてるっ
あっ…
あぁっ…♡


おなか
あつい…
はやく
掻き出さないと…
ぴゅ。
ノアさんとの
赤ちゃん
できちゃう…
ぐちゃ…
駄目じゃない
ですか
こぼしちゃ
栓を
しないと…
スリ
スリ
あっ!!

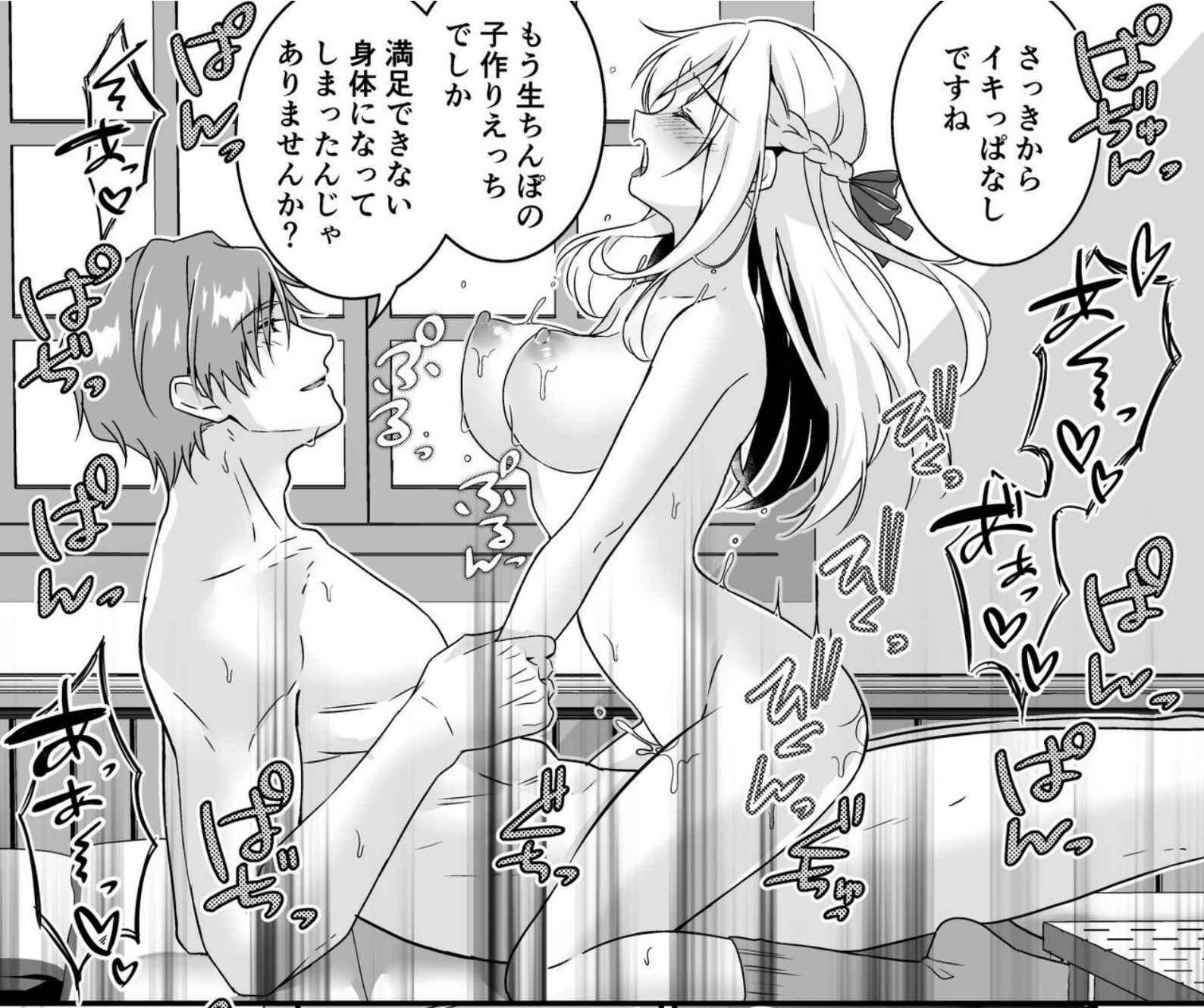

安心してください
こぼれた分はすぐに注ぎ足して差し上げますから…！
やっだめッ
赤ちゃんっ赤ちゃんできちゃうからぁ…！
はいっ元気な赤ちゃん産みましょうね…！
おっぱいもミルクいっぱい出せるよう育てないと
駄目ッ
駄目なのにッ
聞こえますか？俺の精液とマリーさんのがナカでぐちゅぐちゅ混ざる音…！
気持ちいいの止まんないっ


奥トントン
気持ちいいですねっ
トンッ
トンッ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱんっ
あっ♥
あっ♥
あっ♡
おくっ♡
だめ♡
またなんか
きちゃうっ
俺もっ
マリーさんの
おまんこ
気持ち良すぎて…
ぱちゅっ
あっ♡
やっ♡
ぱんっ
だめ♡
だめぇ♡


くっ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
あっ♡
おくぅぅぅっ♡
でてるっ♡
熱いの
でてる…っ！
びくっ
びくっ


これ、診療所で頂いたのですが何だかわかりますか？
あっそれ…
はぁ…
ゴクッ
これ特注で作った即効性の強力な…
そう、あなたが作った精力剤です
ずぷ
ひんっ!!!
ずっ
ずっ
ずぶっ
ずちっ
喜んでください
これで何度でもマリーさんを可愛がってあげられる

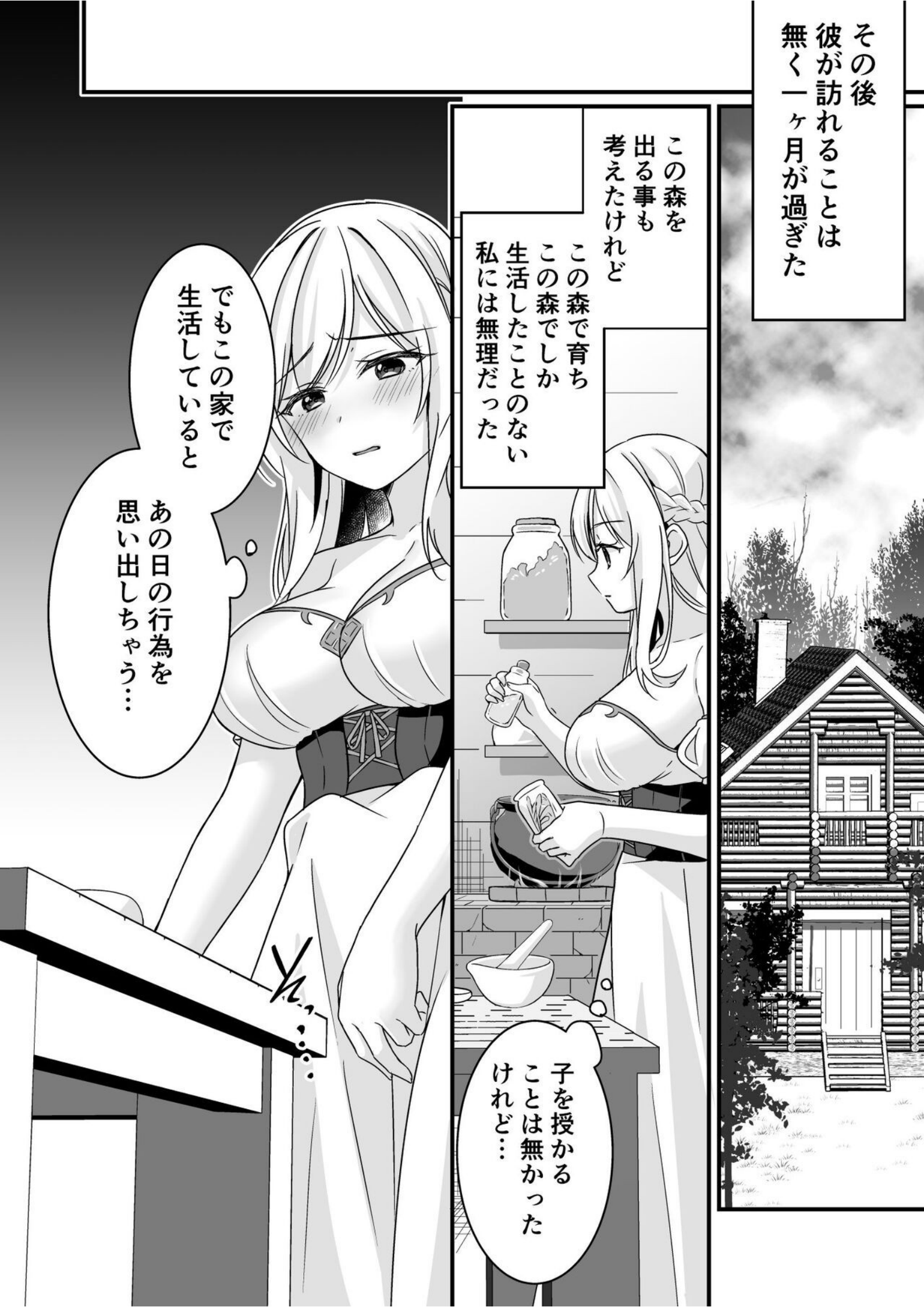

さっきよりっ
大きくてっ
かたいっ
部屋中
汗と精液の
臭いがする
もっ
許して…っ

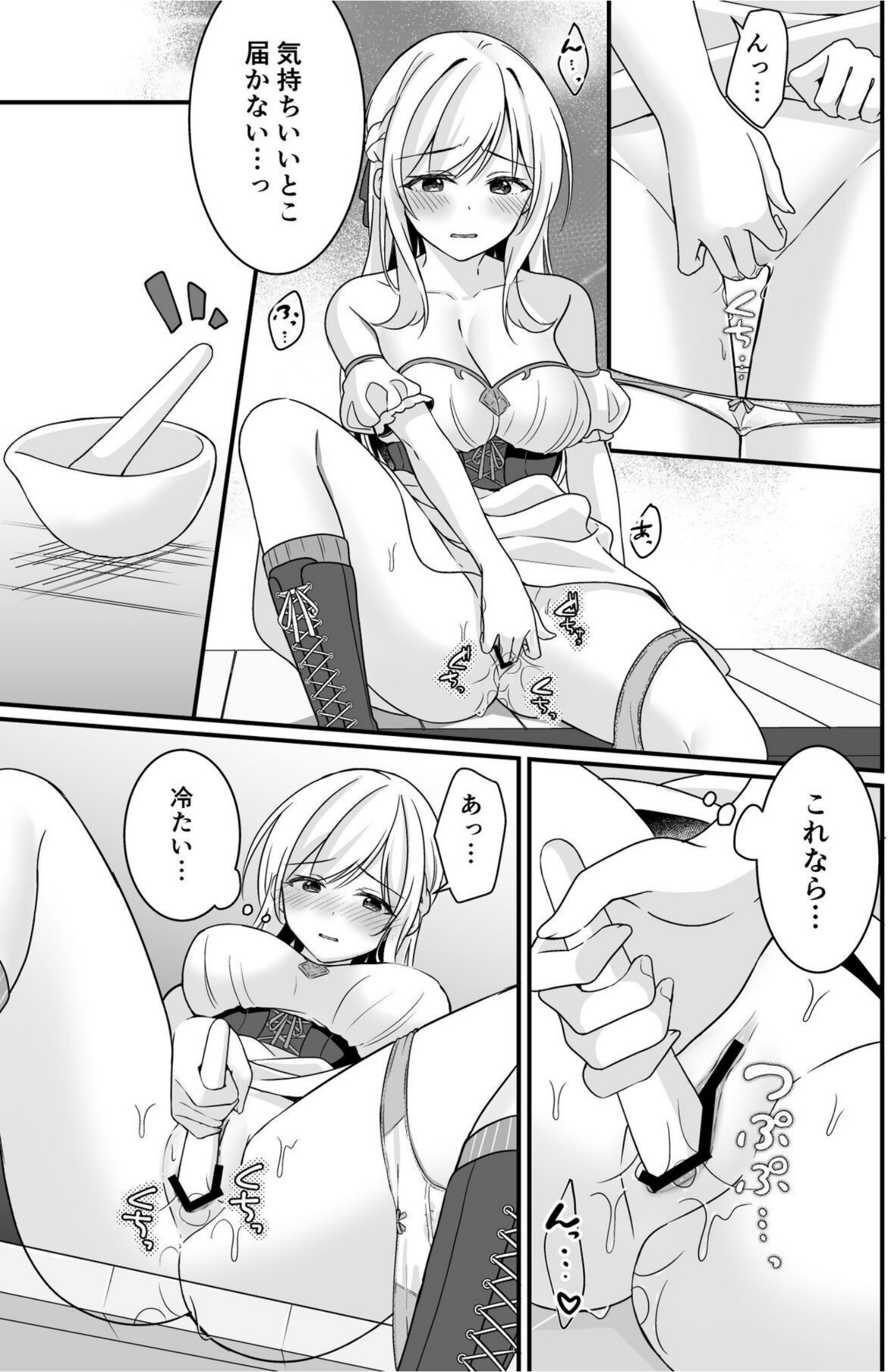

さっきから
イキっぱなし
ですね
もう生ちんぽの
子作りえっち
でしか
満足できない
身体になって
しまったんじゃ
ありませんか？


何も
考えられない
気持ちいい
ことしか
わからない…っ


さすがマリーさんの作った薬ですね
勃起も射精も止まらない…！
もう何回出されたんだっけ…
あっ♡
あっ♡
あぁっまた出るっ
あ…
あっ…♡
とろん…


今日は
このくらいに
しておきましょうか
はー♡
ばー♡
とろぉ
今回が
駄目だったとしても
大丈夫です
次の休暇に
また来ますから
こぽっ
こぽっ
どろっ
はい
次…？
次も
またこんな…


その後
彼が訪れることは
無く一ヶ月が過ぎた
この森を
出る事も
考えたけれど
この森で育ち
この森でしか
生活したことのない
私には無理だった
子を授かる
ことは無かった
けれど…
でもこの家で
生活していると
あの日の行為を
思い出しちゃう…


んっ…
くちっ…
ん…っ
気持ちいいとこ
届かない…っ
？…
あ、
どちっ
くちっ
これなら…
つぷぷ…
んっ…♡
あっ…
冷たい…
くちっ
くちっ


ダメ…
凹凸がないから…
くちっ
くちっ
ん♡
くちっ
ん♡
ノアさんのは
気持ちいいトコに
ごりゅごりゅ
引っかかって…
くちっ
奥いっぱい
トントン
突かれて…っ
くちっ
くちっ
ん♡
ん♡
届かない
よぉ…っ
くちっ
くちっ
ん♡
あっ
欲しっ♡
くちっ
くちっ

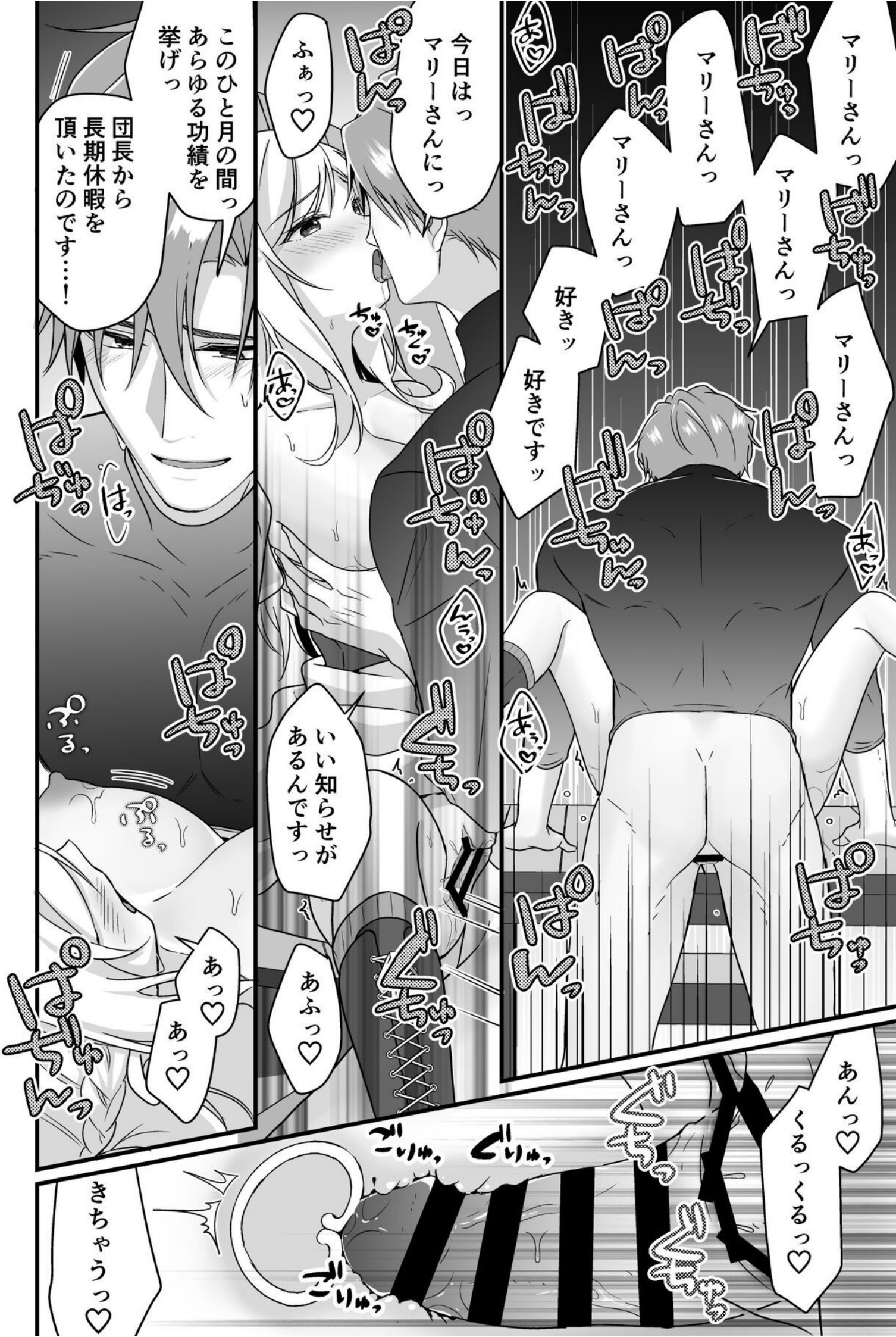

ノアさんのおちんちんっ欲しいよぉ
コンコン
あっ…


違っ
これは…
…申し訳ありません
来るのが遅くなって
しまいましたね
俺とのえっちを
思い出して
オナニーして
いたんですね
こんなものまで
使って
あっ…
私…私は…っ
ひゃっ！
ずいぶん
寂しい思いを
させてしまった
ようだ


ちゅっ
んんっ♥♥
ちゅっ
ずっ
ずっ
ずっ
あっ♥
んっ♥
あっ♥
ずっ
ずっ
ずっ
あっ♥
マリーさんの
気持ちいいとこ
いっぱいこすって
もう
大丈夫です
はっ
はっ
ずっ
ずっ
あっ♥
ノアさんの
きたぁっ❤
きゅ♥
きゅ♥
いっぱい突いて
差し上げます
からね…！
ずっ
ずっ
ずっ
ずっ
ずっ
ずっ
あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
あっ♥
気持ちいいっ♥
ノアさんのっ♥


あっ
ノアさっ❤
そこっ
ここをカリで
ごりゅごりゅ
されるのが
好きなん
ですよね…！
あっ♡だめ♡
こんなものじゃ
さぞかし物足りな
かったでしょう
あっ♡
それっ…
あぁっ♡
そこっ
こりこり
しちゃっ…!!
嬉しいなぁ
貴女の身体が
俺の事をずっと
覚えてくれていて…！
ほらっ
わかりますか
マリーさんの子宮が
俺のちんぽに
ちゅっちゅっって
吸い付いてきてる
あっ♡だめ♡
あっ♡おく♡
パン
ゴッ
ゴッ
パン
パン
パン


おや、触ってないのにおっぱいが勃起して出てきましたね
触ってほしくておねだりしてるんですか？
可愛いですね
あっ♡
だめ♡
ああぁっ♡


マリーさんっ
マリーさんっ
マリーさんっ
マリーさんっ
好きッ
好きですッ
ぱちゅ
ぱんっ
ぱちゅんっ
ぱちゅ
ぱんっ
ぱちゅんっ
ぱちゅ
ぱんっ
ぱちゅんっ
ぱちゅ
ぱんっ
ぱちゅんっ
あっ♡
今日はっ
マリーさんにっ
ふぁっ♡
ぱんっ
ちゅっ♡
ちゅっ♡
このひと月の間っ
あらゆる功績を
挙げっ
団長から
長期休暇を
頂いたのです…！
ぱちゅ
ぱちゅんっ
はっ
ぱちゅ
ぱちゅんっ
ぷるっ
ぷるっ
いい知らせが
あるんですっ
あふっ♡
あっ♡
あっ♡
ぱちゅ
ぱちゅんっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
あんっ♡
くるっくるっ♡
きちゃうっ♡


くっ
「あ♥
ドク
ドク
ビクッ
ビクッ
ビュッ
ビュッ


ですから
これからは
毎日子作りえっち
しましょうね…！
はぁ
はぁっ
…はい❤
はーっ♡
はーっ♡
END



サークル：ぽぽんた堂
Twitter：@popontadou
pixivID:93278725

漫画：吉井コウ
企画：華茉莉

禁止
ウェブサイト、SNS上へのアップロード
無断転載、翻訳、複製複写